

ながもり通信

～nagamori newspaper～

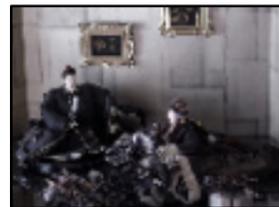
発行日：2026年3月1日 No.0056 HP：https://nagamori.jimdofree.com/

今月のスケジュール

3月23日(月)～28日(土)	花見弁当 限定販売
3月5日(木)・25日(水)	レンジDEランチ 唐揚げをトッピングした特製中華丼
3月21日(火)	日替わり弁当 鶏天レモンタルタルうどん 新発売

知っトク

ひなまつり



写真：後藤由香子さんFacebookより

3月といえば、女の子の節句としてお祝いされる「ひなまつり」があります。ひなまつりの歴史は古く、その起源は約1200年以上前の平安時代までさかのぼります。諸説ありますが、当時の宮廷貴族の子女の間で行われていた、人形を使ったおままごと、ひいな遊びがもとになったとされています。もともとは、女の子のお祭りではなく、上巳節（じょうみせつ）旧暦3月の最初の巳の日のこと）に春を祝い無病息災を願う厄払い行事だったのです。江戸時代に入り、幕府が「五節句」の一つとして3月3日を祝日にしたことで武家から町人へと広く普及していきました。

雛人形は、宮中の様子を表していて、主に婚礼を意味しています。

【内裏びな】内裏とは天皇の住まいである御所のことで、お内裏様とお雛様が幸せの象徴となっています。日本古来の並べ方は、左上位の考え方により向かって右に男びな、左に女びなでしたが、昭和天皇が国際マナーの基準にしたがい、右上位に並ぶようになってからは、向かって左に男びな、右に女びなを並べるようになりました。

(*_*)これには、びっくりでした！いつからそうなったのかは、知りませんが小さいころはどっちに並んでいたのだろう～

【三人官女】内裏に仕える女官たち。中央の女官長はお酒を飲む盃を三方にのせて持ち、結婚しているので眉毛がありません（昔は既婚者となると眉毛をそりました）向かって左の女官は、お酒の入った加えの銚子をもち、口が開いています。向かって右の女官は、お酒を注ぐ長柄の銚子をもち、口は閉じています。

【五人囃子】能の演奏をする年少の男の子たちで、元服前のはかま姿でそれぞれ楽器や小道具を持っています。向かって左から、太鼓(たいこ)、大鼓(おおづつみ)、小鼓(こつづみ)、笛(ふえ)、謡(うたい)の順にならびます。

【隨身】弓矢をつがえて宮廷を警護する人です。向かって左の若者が右大臣、右の髻をはやした老人が左大臣。ひなまつりの歌の3番に右大臣が登場します。「少し白酒めされたか、赤い顔の右大臣」とあるので、顔が少し赤くなっています。

【三仕丁】宮中の雑用係で、身分が低く、怒った顔の怒り上戸、泣き顔の泣き上戸、笑い顔の笑い上戸の3人で、三人上戸とも呼ばれています。台笠(だいがさ、帽子をかかけます)、沓台(くつだい、靴をのせます)、立傘(たちがさ)を持ってお出かけのお世話をしているのが、関東雛。箒、塵取り、熊手を持って宮廷の掃除をしているのが、関西雛となっています。

最近では、場所をどうしてもとってしまう5段飾りや7段飾りは少なく、お内裏様とお雛様の飾りのみが主流となってきました。

私がとても好きな雛人形があります。岐阜市にある後藤人形 後藤由香子さん製作の個性豊かな雛人形です。人形の顔や髪飾り、衣装や屏風、お道具まで全て見たことのないデザインや素材のものが使われ、最初に見た時はとても衝撃的でした。十二単もとてもおしゃれで今まで使われいない色彩、黒などの濃い色、グリーン一色でまとめた衣装や屏風、目鼻立ちがはっきりした顔や上向きの顔やしぐさ、どれをとっても

右上につづく



素晴らしい人形たちでした。今でこそ、モダンな雛人形がいくつも出ているかと思いますが、当時はそういった人形を作ろうと協力する生産者さんも少なく苦勞してみえたようです。そして2016年、SNSで話題になった黒とグレーでまとめられた「ゴスロリ雛人形」、ナチュラルな色合いの「森のウェディング」作家さんとしてこれからもっともっと素敵な雛人形を製作してくれるだろうと思っていた矢先、話題になった翌年2017年卵巣がんのため、残念ながら49歳という若さで他界されています。「かぐや姫」を製作、納品された直後に倒れられ、たった2ヶ月で月に帰るようになられたそうです。後藤由香子さんの偉業は、現代にも引き継がれ、色んな雛人形が製作されています。もちろん、昔ながら雛人形もいいのですが、新時代の雛人形も素敵だと思います。また一目惚れするような雛人形に出会えるかな～ あ、最近では娘のためだけではなく、ご自身のために購入されている方も増えているそうですよ^^

お雛様を飾るには、暦のうえでは春になる立春から2月中旬ごろまでに飾るのが一般的で、3月3日前日に飾るのは、一夜飾りとなるのでNGになります。片づけは3月中旬ごろまででいいそうです。よく当日にじゃないとお嫁に行けないよと慌てて片付けていましたが(ー;)

そしてひなまつりの食べ物といえば、雛餅とひなあられ、雛餅はピンク(赤)、白、緑の3色で、赤(クチナシ)は魔除け、白(菱の実)子孫繁栄と長寿、緑(蓮)厄除けの意味があり、組み合わせによって春の情景を表現する、下から緑、白、赤の順で配置されます。雪の下に新芽が芽吹き、梅の花が咲くイメージなんだそう。でも、菱餅って本物でしたっけ！？模型だったような気がする・・・というか、食べたことがないような・・・気がします。ひなあられのほうは、毎年食べてたように思います。これも3色が基本で、関東はポン菓子ベースの甘い味、関西は餅米ベースの塩、醤油味と異なるそうです。岐阜は、おもしろいですよね～関西と関東、両方の味を知りつつ、おいしい食はそのまま取りいれ、独自の食文化も確立する。岐阜のひなあられは円柱形でほんのり甘いものが主流です。マヨネーズ味や甘じょっぱい味も人気だそうです。あとは、やっぱり華やかなちらし寿司ですよね～具がたくさんあって美味しいですよね^^

平安時代より長きにわたり、娘の成長と健康を願ってお祝いするひなまつり。もともとの桃の節句の意味は災厄払いなので、厄を払い健康を願って、ひなまつりをみんなで楽しみましょう(^)/



今月の注目スポット

※日時など詳細はお出かけ前にご確認ください

いわむら城下町ひなまつり ★恵那市岩村町

期間：2026年03月1日(日)～4月3日(金)

標高717mの地点に築かれた日本三大山城の一つとなっている「岩村城」女城主の城と呼ばれ、戦国時代を生き抜いた織田信長の叔母にあたる「おつやの方」が守った城です。とても悲しい最期を遂げた方なのですが、私はここの町がとても好きで、なかでも岩村城は石垣しか残っていませんが城跡が結構残っていますし景色もいいので、おすすめ。城下町沿いには約100ヶ所に及ぶ場所で約3500体の雛人形が飾られる最大規模のひなまつりとなっています。協賛しているお店も40店舗あり、春らしい食事やお土産など購入できます。期間中の土日には、関連イベントの開催もしています。オープニングイベント・まちなか市3月1日、ひなのクラフトフェア14日、15日、宵のひなまつり28日 詳しくは、恵那市観光協会岩村支部HPでチェックしてください。

STAFF募集中

※詳細は、ご希望の勤務工場に
お問合せください。
お待ちしております！



都道府県クイズ

都道府県クイズ

四国地方は、何県が属しているでしょう
ノーヒントです。

答えは 次号で

前号の答えは 和歌山県